



はつらつセンター

会報 78号

令和2年5月25日

小山シルバーだより

主な記事の内容

P 2~3

- 新しいステップへの展望に向け
『第4次中期計画の考え方』

P 4

- 令和2年度地区役員のお知らせ
- 地区新春会開催

P 5

- 理事会・各部会報告
- リレーサロン

P 6

- 健康ばんざい
- 会員はつらつコーナー

P 7

- 熱中症に気をつけましょう
- 全シ協専務理事による講演会開催

P 8

- パソコン操作講習会開催
- 刈払機取扱安全講習会開催
- フリーマーケット開催
- お知らせ
- 入会説明会のご案内

健やかで活力ある高齢社会の維持・発展への寄与を目指して

公益社団法人 小山市シルバー人材センター

新しいステップへの展望に向け

～第4次中期計画(令和2～6年度)の考え方～

理事長 生井克明

第4次中期計画について、三部会、中期計画推進委員会及び理事会で検討してまいりましたが、10年計画等の長期計画を策定すべきとのご意見も頂戴してまいりましたが、10年先を見通せるものではないこと、加えて国が進める「働き方改革」の影響、新型コロナウイルス問題等の新たな課題が出てきたことを考慮し、計画年数を5年とし、3年後に見直しをする計画としました。

第3次までの中期計画では、会員の皆様のご協力と関係各位からのご支援により、契約金額も順調に伸びることができましたが、令和元年度に入り状況が変わりました。法令遵守のため、請負から派遣への切り替えを行うほか、法令に違反する疑いのある就業の見直しを行いました。また、行政機関の改革もあり、シルバーの契約金額が減少しています。そのため、令和元年度の実績は、派遣は増えましたが、請負は減少し、請負の減少を派遣の増額で補うことができず、全体では前年度を下回る結果となりました。

令和2年に入り、新型コロナウイルス問題が発生し、世界経済に大きな影響を及ぼしています。この難局にあたり、シルバーの原点を忘れず、臨時的・短期的・軽易な業務を受注し、地域社会に貢献できるセンターを目指していきたいと思えます。

第4次中期計画の中で、次の2点を重要事項としました。

①「会員への速やかな就業情報の提供」

事務局には様々な注文・問合せがあり、入会時の希望職種と就業履歴から会員に声をかけますが、中々見つからずにお断わりする場合があります。このため、就業情報を一早くホームページにアップし、希望者を募ります。将来的には会員へのメール発信もできるようにしたいと考えています。

②「事業所訪問による民間部門の拡充」

新型コロナウイルス問題で困難な時期ですが、機会を捉えて進めたいと考えています。これまで事業所訪問時に新規にお仕事のお話を頂くことがあっても、話が途切れてしまうことがあります。今後は表敬訪問ではなく、提案型訪問に切り替えるべく工夫し、就業に繋げていきたいと考えています。



理事会での審議

今後の事務局運営について

専務理事 雪浦和雄

ホームページの活用推進

スマホの普及は目覚ましく、2019年2月に実施された18歳以上の国民を対象とする調査によりますと、スマホの所有率は85%、ガラケー携帯所有率は11%、合計は96%です。また、60代のスマホ所有率は69%とあります。この他にパソコン利用者も多数存在します。

このような状況を考慮し、ホームページを利用した就業情報の会員への提供を本年度から開始します。これにより会員への就業情報の迅速な提供と就業機会の拡大が可能になると考えています。

次のステップとして、来年度以降、メールを利用した特定会員への就業情報の提供を予定しています。その実現のためには、会員のメールアドレス登録が必要条件になりますので、まず会員の皆様の協力を得て、メールアドレス登録を進めてまいります。

全会員のメール利用実現は難しいですが、より多くの会員の利用が可能になれば、クリーン作戦の実施、地区会議の開催等の変更発生時に、メールの活用により、迅速・柔軟な対応が可能になります。登録会員全員への一斉メールの発信(同時通知)や特定グループへの通知が期待できます。

会員と事務局の連携充実

各種委員会の活動は活発になっていますが、実績を上げるためには、実務を行う事務局と連携して作業を進めることが重要です。部会・委員会に事務局員も参加していただき、連携の充実を図ることが必要と考えます。

センター活動の充実を目指す

総務部会長 藤倉拓治

会員数の増強

・定期的な入会説明会のほか、出張説明会を開催し、会員数の増強・センターの普及に努めます。

・説明会等を通じて、シルバーの仕組み・魅力を発信します。

・会員のご協力を頂き、会員数の増強、特に女性会員の増強に努めます。

・女性委員会の活動に併せ、女性会員の勧誘を行います。

・小山市のイベント、センターのイベントを通じて、会員の勧誘を行います。

会員の交流機会の増大と市民への普及

・シルバーフェスタへの会員の参画を増やし、シルバーの普及啓発に努めます。

・会員のボランティア活動の場として、地区別クリーン作戦を計画・実施します。

・フリーマーケットを充実させ、会員の交流の場とする

とともに、市民への普及の機会とします。

ます。



入会説明会

シルバーの魅力の発信

広報部会長 生井克明

シルバーは高齢者が集い、お仕事を受注し、働く喜びを得るとともに仕事を通じて地域社会において一定の地位を得るために設立されました。シルバーの魅力を次のように発信します。

会員数の増強に向け、未だ入会していない高齢者に対し、シルバーで活動する喜びをお伝えします。

就業拡大を図るため、小山市民の皆様にもシルバー事業の趣旨をお伝えし、シルバー利用の有用性を発信します。

※活動内容

広報資料の作成・配布

・広報誌「シルバーだより」の発行（年3回）
・市内全戸向け「チラシ」の発行・配布（年2回）
・会員向け「かわら版」の発行（随時）
・主要業務の案内パンフレット等の作成
・広報資料を活用した広報活動

・広報資料の公共施設等への配布展示
・各種イベントへの参加、資料等の配布
・ホームページを用いた有効な広報活動
・センター事業の掲載、広報誌「シルバーだより」の掲載
・ウェブ運営者の育成



ホームページ更新作業

事業部会の取組みについて

事業部会長 伊澤三千夫

安全委員会では、「安全は全てに優先する。」をモットーに安全パトロールを計画的に実施し、会員の安全管理意識を高めて行きます。また、事故事例を検証し再発防止に努めてまいります。近年、頻発する台風被害、地震災害等の緊急時に速やかな対応をしてまいります。

職群班担当は年間の職場訪問を通じ、「助け合いながら、楽しく働ける」環境づくりを支援して行きます。年間二回の職群班班長会議を開催し、各職場での問題点や改善点を話し合い「自主・自立」の意識を高めて行きます。

就業開発担当では、現在の公共と民間の就業比率が50%・50%ではありますが、民間の就業開拓に力を注ぎ、事業所訪問を実施してまいります。また、独自事業の開発として、「エアコン・クリーニング」の独自事業にも取り組んで行きます。更に、農業支援や空き家対策、墓地管理等の拡充の可能性を探ってまいります。

研修会担当では、会員の資質向上を図るとともに会員の健康づくり・安全就業に資する研修を計画・実施してまいります。

女性委員会では、女性会員の増強が最も重要な課題と捉え、女性会員が定着できる魅力あるセンターのイメージづくりを努めます。そのため、年間を通じ交流活動のための講習会を企画実施するとともに、女性リーダーの発掘・育成に努めます。また、女性会員の就業状況を分析し、女性会員の就業開拓に生かします。現在、取り組んでいる市内の学童保育施設訪問を継続し、子育て分野の拡充に努めます。



植木の講習会

地区新春会合が開催されました

● 令和2年度地区役員のお知らせ ●

令和2年4月6日現在の会員数

合計634名	男性 509名
	女性 125名

地区・班 組織図



小山A地区



小山B地区



大谷A地区



大谷B地区



間々田地区



美田地区



桑絹地区

公益社団法人 小山市シルバー人材センター

小山A地区	地区長	橋本 幸奈
	副地区長	野口 和男
	担当理事	伊澤三千夫
		新井 宣子
	地域貢献担当	大橋 章
	担当職員	石川 和男

小山B地区	地区長	伊藤 晴二
	副地区長	野原 光男
	担当理事	野中 昭男
	地域貢献担当	三田 秀男
	担当職員	石川 恵

大谷A地区	地区長	岡野 好則
	副地区長	荒川 公延
	担当理事	藤倉 拓治
	地域貢献担当	今井 康男
	担当職員	和泉田憲吾

大谷B地区	地区長	吉原 清
	副地区長	山中 英雄
	担当理事	小林 充親
		高尾 力
	地域貢献担当	小林 充親
担当職員	石川 恵	

間々田地区	地区長	高橋 左吉
	副地区長	長浜 憲一
		松重 重行
	担当理事	雪浦 和雄
	地域貢献担当	小高 次男
担当職員	和泉田憲吾	

美田地区	地区長	寺内 義雄
	副地区長	佐藤 孝
	担当理事	生井 克明
		小林 信治
	地域貢献担当	森 利英
担当職員	添野 一郎	

桑絹地区	地区長	角田 達夫
	副地区長	吉成 雄平
	担当理事	大久保克延
		斎藤 優
	地域貢献担当	小野原久夫
担当職員	添野 一郎	

班	会員数	地区委員	区 域
1	10名	花塚 泰明	花塚町・本郷町
2	10名	六谷 幸三	城山町・中央町・宮本町・八幡町・神明町
3	7名	西田 勝夫	大字立木・大字小山(小山一小区)
4	5名	長 克己	大字大行寺(小山一小区)
5	10名	竹原 正夫	天神町・大字神鳥谷(宇都宮線西側)
6	13名	浅沼 繁富	城北(一丁目・四丁目～六丁目)・駅東通り(三丁目)
7	11名	山中 和男	城北(二丁目・三丁目)・大字犬塚(城北小区域)
8	10名	中田 正	若木町(一丁目・二丁目)・大字喜沢(小山中学校南側)
9	10名	大橋 周夫	若木町(三丁目)・大字喜沢(城北小区域)
10	16名	佐藤 年夫	神鳥谷(丁目)・大字外城・粟宮(丁目)
11	15名	江原 輝雄	東城南(一丁目～四丁目)・大字小山(50号線南)
12	13名	伊藤 晴二	東城南(五丁目)・西城南(四丁目)
13	13名	宮田 武雄	西城南(一丁目～三丁目)
14	13名	白井 利宗	西城南(五丁目～七丁目)・大字神鳥谷(宇都宮線東側)
15	14名	塚原 保	駅南町(一丁目～四丁目)・神山・三峯
16	11名	森谷 直純	駅南町(五丁目・六丁目)・大字小山(50号線北)
17	19名	石丸 祝雄	駅東通り(一丁目・二丁目)・城東(一丁目・二丁目)
18	6名	福田 峰夫	城東(三丁目～五丁目)
19	5名	今井 康男	城東(六丁目・七丁目)
20	16名	鶴見 勝夫	大字土塔・大字犬塚(水戸線南・環状線西側)
21	23名	西田 勝美	犬塚(一～八丁目)・大字犬塚の一部(犬塚三丁目の東北部)
22	22名	影山 博保	中久喜(丁目)・大字中久喜
23	9名	野中 昭男	大字横倉(1～399・500～1293)・大字田間
24	10名	大鷲 久三	大字横倉(400～499)
25	12名	青木 成夫	大字横倉新田(1～99・200番地の一部)
26	13名	星野 勝美	大字横倉新田(100～)
27	10名	中島 一雄	大字向原新田・大字雨ヶ谷・大字雨ヶ谷新田・大字横倉(1294～1400)
28	10名	小井田 裕	大字東野田・大字南和泉・大字武井
29	5名	渡辺 敏文	大字塚崎
30	10名	木原 重成	東間々田(一丁目・二丁目)・大字間々田(789～999)
31	13名	高垣 敏之	大字間々田(2000～)
32A	16名	高橋 左吉	大字間々田(1000～1999)
32B	14名	長浜 憲一	乙女(丁目)
33	10名	武井 道子	東間々田三丁目・晩
34	12名	金子 嘉男	美しが丘・大字東黒田・大字西黒田・大字間々田(1～783)
35	16名	松重 重行	大字千駄塚・大字粟宮
36	7名	小高 次男	大字平和・大字乙女(1～499)
37	8名	安藤 和夫	南乙女・大字乙女(500～799)
38	11名	小藤 妙一	大字乙女(800～)
39	2名	知久 菊江	大字南飯田
40	4名	高橋 乙二	下生井小区域・瀬戸小区域
41	3名	杉本 孟	寒川小区域
42	11名	佐藤 孝	豊田南小区域
43	10名	稲葉 勇	豊田北小区域
44	16名	森 利英	穂積小区域
45	11名	須賀 久夫	中小区域
46	12名	仁平 洋介	羽川小区域(大字喜沢)
47	13名	宮崎 正弘	大字荒井・大字出井
48	11名	葛西 洋範	大字羽川(1～199・300番台・700～899)
49	16名	後藤 幸子	大字羽川(200番台・400～699・900番台)
50	11名	高瀬 喜一	扶桑(一丁目)・大字飯塚・大字三洋川岸・大字東島田
51	14名	小林茂一郎	扶桑(二丁目・三丁目)・大字南半田
52	15名	酒寄 勝	萱橋小区域
53	15名	大門 廣	旧福良小区域(大字高橋を除く)・旧栗小区域
54	12名	持田 幸廣	旧延島小区域・大字高橋

掲 示 板

● 理事会

令和元年度第8回 (11月28日)

*正会員・男性8、女性3名の入会を承認

*令和元年度得意先訪問について

令和元年度第9回 (12月26日)

*正会員・男性3名の入会を承認

*特定費用準備資金等取扱規程の制定(創立四十周年記念事業対応)

令和元年度第10回 (1月30日)

*正会員・男性4名の入会を承認

令和元年度第11回 (2月27日)

*正会員・男子3名の入会を承認

*就業に係る研修・事務引継ぎ等の手当について

*表彰規程の一部改正

*職務執行状況報告(理事長、副理事長、専務理事)

令和元年度第12回 (3月19日)

*正会員・男性3名、女性1名の入会を承認

*令和2年度事業計画案及び収支決算案について

*創立四十周年記念事業に係る積立てについて

*第4次中期計画の章立て案について

● 総務部会

令和元年11月5日

*普及啓発促進事業月間行事の反省

令和元年12月3日

*地区長・副地区長会議開催について

*令和元年度下期公募説明会・面談会について

令和2年1月7日

*ホームページ活用による就業案内検討

令和2年2月4日

*ラクラクプリントの導入について

令和2年3月3日

*第4次中期計画に向け意見表明

● 事業部会

令和元年11月7日

*職場訪問・安全パトロール報告実施内容報告

*交通安全講習会開催について

*女性会員の就業状況分析

令和元年12月5日

*職群班班長会議開催結果報告

*女性委員会料理教室開催について

令和2年1月9日

*マナー講習会開催について

*安全就業スローガン応募推薦について

令和2年2月6日

*職場訪問実施及び事業所訪問計画

令和2年3月5日

*第4次中期計画について検討

● 広報部会

令和元年11月1日

*会報77号ゲラ編集校正

令和元年11月15日

*会報第77号ゲラ校正・責了

*ホームページに各地区のクリーン作戦画像を掲載

令和元年12月13日

*かわら版第18号発行の反省点について

*会報第78号の企画立案について

令和2年1月17日

*ホームページ更新状況について

令和2年1月31日

*令和2年度広報部スケジュールについて検討

令和2年2月14日

*会報第78号編集及びかわら版19号発行について

令和2年2月28日

*会報第78号編集について

*令和2年度広報部スケジュール決定

令和2年3月13日

*会報第78号編集について

*次期中期計画の策定について

令和2年3月27日

*会報第78号編集校正検討

*かわら版20号の発行について

リリースサロン



高尾 力さん(大谷B地区)
事業部会(就業開発担当)

理事さんはこんな人 ⑭

高尾さんは平成24年8月入会し、駅東駐輪場で5年就労、現在は小山市水道庁舎で宿日直業務に就いて2年目を迎えています。令和元年理事に就任してからは就業開発を担当、他理事とともに市内の企業訪問を行っています。

前職は都内のデパートに勤務していました。外商関係の仕事の中で「親切・丁寧・迅速」を念頭にやってきました。シルバーの中でも忘れずそれを貫き、さらに加えて「明るく・楽しく・元氣よく」をモットーにやっつけていきたいのが目標だそうです。

趣味は「カラオケ愛好会」に所属して、月2回の例会に参加し楽しく歌うこと。得意な曲は「はぐれコキリコ」だそうです。余暇は昔の仲間と東京の名所・旧跡巡りをしたり、年5回ほどのゴルフを楽しむことです。

家族は奥さんとの2人暮らしですが、日帰りバス旅行をお二人で出かけることが楽しみの一つと話していました。

「健康ばんざい」



フレイルってご存知ですか? ②

小山イーストクリニック

院長 大橋 博

フレイルとは、「高齢になることにより、心身が老い衰えた状態」です。しかしフレイルは、早く対策をとれば進行を遅らせたり、元の健康な状態に戻れます。以下、前号からの続き

孤食よりも共食

一人暮らしの高齢者は、一人で食事を摂る孤食となりがちです。孤食では食事の品数も減り、食べる食材も偏りがちとなります。食欲が低下すると食べる量も減り、低栄養状態に陥りやすくなります。一方、家族や友人と一緒に食事を摂る(共食)と、コミュニケーションをとりながら食事ができ、「楽しく食べられて食欲が高まる」、「品数も増えて多様な食材を食べられる」ことにつながり、低栄養を避けることができ、積極的に友人や家族、地域の人などと共食の機会をもちましょう。

口腔機能のケア

加齢とともに噛むことや飲み込むことなど、口腔機能が低下すると、硬い食材が食べられなくなったり、むせたりすることがみられます。飲み込みの筋肉の筋力低下は、誤嚥につながり、ひいては肺炎を引き起こしてしまいます。定期的に歯科検診を受けて口腔機能の低下を予防すること、噛みこたえのある食材を選んで良く噛んで食べることを意識し、食事の質を維持するようにしましょう。

ムセがみられたら、「口腔の体操」や「唾液を出しやすくするマッサージ」、「歌を歌う」、「早

口言葉を言う」、「友人や家族とおしゃべりする」、「姿勢を正して顎を引き、良く噛んで食べる」ことを行って、口腔機能をケアしましょう。日常生活に運動の要素を取り入れる

例えば、「出かける時はなるべく徒歩で出かける」、「階段を積極的に上り下りしてみる」とことや、「テレビを見ながら足の運動をしてみる」、「家族や友人に会いに行ったり、催し物に行ったりなど、外に出掛けるきっかけをつくる」ことなどを行い、運動する時間を増やしていきましょう。

歩く時は、お尻と背筋を伸ばして腕を振り、歩幅を大きくして少し速く歩いてみましょう。身体をしつかり伸ばして大きく足を動かすと、全身の筋肉を効率よく使うことができます。

社会活動に参加する

高齢者は加齢による身体的な衰えに加えて、定年退職、収入の低下、子供の独立、親しい人との死別など、社会的な役割の変化が訪れます。社会的地位や親としての役割、家族や友人を喪失する経験は、気力や活気を失うきっかけともなります。

社会とのつながりを持つことが徳助となり、家に閉じこもりがちとなると、生活面や精神面など他の側面までもが低下をきたし、フレイルが進行、重症化していきます。

自分が得意なこと、できることを見つけて地域のボランティアなどに社会参加することは、生きがい、やりがいを見出すことや社会的な役割を再び取り戻して自信をつけることにもつながります。社会的な活動は活気や気力も湧きいきいきと生活することで心も体も元気になります。まさにシルバー人材センター等は最適でしょう。(完)

プロフィール

大橋 博 <おおはし ひろし>
日本糖尿病学会専門医・研修指導医

昭和 53 年 3 月 福島県立医科大学卒業
昭和 53 年 4 月 東京女子医科大学糖尿病センター入局
平成 1 年 4 月 小山イーストクリニック開設 院長就任



会員はつらののコーナー

お元気会員からの投稿

「私の習字との出会い」

問々田地区 清水 利男 会員



40才の時でした。近隣で葬儀の際に受付と書記を依頼されました。

芳名帳の記入は筆書きでの要請でした。普段でも筆やペンを持った

ことのない私が、人前で筆字で書記をするのは緊張と恥かしさでいっぱいでした。弔問者が多数のため受付は2組で行っていました。取りまとめの際に他の方が記入した芳名帳を見せて頂いたところ、見事にきれいな書跡でした。この時自分も少しでも上手な筆字を書きたいとの思いが、習字との出会いでした。幸いに身近に先生である義兄がいたので、早速、お願いして門下生になりました。農家の仕事とは違って机に向かったの習い事は非常に疲れる日々が続きました。それでも月日を重ねるごとに、少しずつ昇級すると張り合ってもできて、先生からは毎日5分でもよいから筆も持つように進言されました。先生をはじめ先輩や仲間にも励ましの言葉を頂き、平成2年に全日本書芸文化院の準師範に合格・平成17年には師範の資格を取得しました。また、日本書道揮毫協会の賞状揮毫士1級の資格を平成16年に取得し、その年にシルバー人材センター入会して、筆耕班に従事させていただいております。現在は農作業の傍ら、観音寺の写経の会に入会し指導を受けながら般若心経や仏画を模写し、会員の皆さんと一緒に思桜会の作品展や公民館祭りに出品しております。今後も筆耕の技能を生かして、健康に配慮して活動していきたいと思っております。

「熱中症に 気をつけまじょう」

熱中症とは、暑さによって体の中に熱がたまることで起こる体の不調のことです。めまいや立ちくらみ、頭痛や吐き気等の症状があり、意識を失うほどの重い症状に陥ることもあります。誰もが発症する危険性がありますが、適切な予防法を知っていれば防ぐことができます。本格的な暑さを迎える前から熱中症に気をつけ、今年の夏も元気に生活しましょう。

昨年度の小山市では、熱中症は気温が上がり始める5月から増え、暑い日が続く8月に急増しています。小山市消防署管内では、熱中症による救急搬送が123件あり、うち65歳以上の高齢者が56.9%を占めています(小山市消防本部データより)。熱中症は気温などの環境条件だけでなく、暑さに身体が慣れていない時に特に発生しやすい傾向にあります。

また、高齢者は「のどの渴きを自覚しにくい」「食事の量が少なくなる」「トイレを気にして水分をとらない」などの理由から脱水を起こしやすく、熱中症になりやすいとされています。

熱中症にならないために

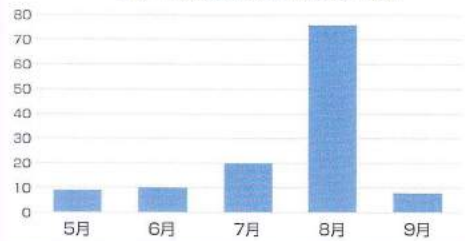
- 室内ではエアコンを活用しましょう。
- こまめに水分・休息をとりましょう。
- 外出時には帽子や日傘を活用し暑さを避けましょう。
- 暑さに備えた体づくりをしましょう。
- 暑さ指数(WBGT)などの気象情報を活用しましょう。

応急手当

- 涼しい場所に避難し、衣服をゆるめ、冷やしましょう。
- 水分・塩分を補給しましょう。
- 安静にして十分に休息をとりましょう。
- 意識がはっきりしない、水分(塩分)の摂取ができない、症状が悪い場合は救急車を呼びましょう。

(小山市健康増進課より)

2019年度熱中症発生件数(件)



熱中症発生状況

全シ協専務理事による講演会開催

理事長 生井克明

2月21日、関東ブロックシルバー人材センター連絡協議会主催の研修会が宇都宮市で開催され、全国シルバー人材センター事業協会(全シ協)の姉崎専務理事の講演がありました。

国は令和3年度から全世代型社会保障制度の確立を目指した施策を始める計画で、定年延長を図るとともに70歳まで働くことを勧めたい考えである。現在も就労している60歳以上の方は70歳以降まで働く希望の方が8割を占める。高齢者は「自分の都合の良い時間に働くこと」を希望しているため、シルバーへの期待が高まっている。

一方、シルバーの会員数は企業の再雇用、同種の事業に参入してきたNPO法人の増加から伸び悩んでいる。会員は組織の基盤であり、安定した事業運営の根幹であるので、第2次会員100万人達成計画を策定した。

令和時代のシルバーの課題について、①会員拡大、②魅力ある事業展開、③積極的な広報活動の3点を挙げ、説明されました。

①の会員拡大については女性会員の入会促進、広報・説明会の工夫、退会の抑制が必要である。それには、役員・職員・会員が一体となった運営体制をつくり、計画の定期的な検証・見直しをし、取り組んでいくことが必要である。

②の魅力ある事業展開には、現在の地域社会の課題(高齢社会、子育て、空き家対策、遊休農地・空き店舗)に対応していくこと、人手不足企業への派遣・独自事業の展開に取り組むことがこれからの重点事業と考える。事例として、地元企業との連携・経済団体に対する働きかけ、地域の特性を活かした独自事業の立ち上げを提唱していました。

③の積極的な広報活動では、センターのイベント開催時には地元マスコミに取材要請し取り上げてもらうこと、センターで活動することが会員の健康維持に役立っていることをPRすることを挙げていました。



パソコン操作講習会開催

期 日…2月12・13日
場 所…センター研修室
参加者…12名

会員の資質向上の一つとして、パソコン操作講習会が開催されました。ご指導をパソコン教室の皆さんにお願いし、講習会資料を完成させました。

- ・内容は、次の三部構成になりました。
- ・パソコン入門基礎操作編(ワード・エクセルの文字入力・印刷プレビュー表示)
- ・ワードによる案内文書作成
- ・エクセルによる就業表作成

講習会を受講した皆さんの感想は丁寧で初心者に分かり易い説明で「理解できた」「講習会に参加して良かった」「今後是非講習会を続けて」との声を頂くことができました。ご協力を頂きました関係者の皆様に感謝申し上げます。(研修会担当…小林信治)



真剣にPCとにらめっこ



この操作はどうするの

刈払機取扱安全講習会開催

刈払機による飛び石の事故が多いこと、振動障害により身体を痛めることがあることから、県連合主催による『刈払機取扱安全講習会』が当センターを会場に2月26日に開催されました。小山市からは23名の会員が参加され、一同熱心に受講されていました。



フリーマーケット開催

会員の提案によるフリーマーケットが3月15日にセンター駐車場で開催されました。

この日は快晴で絶好の日和でしたが、会員だけの行事であったこと、宣伝不足、新型コロナ問題等で参加者が少なかったのが残念でした。約30名の方が来場し、しばし交流の輪ができました。



会員数

令和2年4月1日現在

	人数	総数
男	518	646
女	128	

お知らせ

「シルバーだより」発行月の変更
今年度から諸行事との関係を考え、発行月を5月、9月、1月のそれぞれ25日に変更しましたので、お知らせします。

平成31年4月1日～令和2年3月31日

請負金額	平成30年度	309,641,647円
	令和元年度	290,984,257円
	比較	△18,657,390円
派遣金額	平成30年度	15,105,135円
	令和元年度	21,608,261円
	比較	6,503,126円
総契約額	平成30年度	324,746,809円
	令和元年度	312,592,518円
	比較	△12,154,291円

契約金額

入会説明会のご案内

令和2年6月2日(火)午後1時30分から
令和2年7月7日(火)午後1時30分から
令和2年8月4日(火)午後1時30分から
令和2年9月1日(火)午後1時30分から
※会場は、シルバー人材センター研修室です。

会報 シルバーだより第78号

発行日 令和2年5月25日
発行所 小山市シルバー人材センター
〒0285(28)4130
電話 0285(28)4130
〒32310829
小山市東城南5丁目15番地8
編集 広報部会